

第155回 環境サロン

「地域のカーボンニュートラルを実現するための大学の役割」

2023年の夏の暑さは、日本のみならず北半球の各地で記録すくめでした。温室効果ガスによる気候変動は喫緊の課題とされて久しいのですが、多くの人々がその危機的な状況を実感しつつあります。2015年のパリ協定では、2100年の平均気温上昇を2度とする長期目標が合意されました。しかし、温暖化は着実に進行しつつあり、対策の前倒しが求められています。日本政府は2021年に「地域脱炭素ロードマップ」と「地球温暖化対策計画」を策定し、地域の脱炭素を進めようとしています。第155回環境サロンは、地域のカーボンニュートラルを取り上げ、大学の役割を議論したいと思います。

開催日時および講師

日時：2023年11月1日(水) 18時30分~20時

内容および講師：

話題提供 丸山康司(名古屋大学)
茅野恒秀(信州大学)

コメンテータ
塚原沙智子(慶應義塾大学)



司会進行 一ノ瀬友博(行事委員・慶應義塾大学)

開催方式 オンライン(定数50名)

参加費 **無料**(定員を超える参加希望者がある場合は、本センター会員を優先させていただきます)

講師プロフィール

丸山 康司(まるやま こうじ)氏

東京大学大学院総合文化研究科修士課程修了、博士(学術)。青森大学講師、産業技術総合研究所研究員、東京大学特任准教授などを経て現職。専門分野は環境社会学、科学技術社会学。再生可能エネルギーの社会的受容性や合意形成、自治体の脱炭素政策作りなどの研究と実践に携わっている。

茅野 恒秀(ちの つねひで)氏

法政大学大学院社会科学部研究科博士後期課程修了。博士(政策科学)。専門は環境社会学、社会計画論。日本自然保護協会勤務、岩手県立大学総合政策学部准教授を経て、2014年より現職。長野県地球温暖化対策専門委員、地域と調和した再エネ事業の推進に関する専門委員の他、松本平ゼロカーボン・コンソーシアム運営委員長、安曇野市里山再生計画推進協議会長などを務める。

塚原沙智子(つかはら さちこ)氏

東京大学大学院新領域創成科学研究科修士課程修了。2005年環境省入省(技術系)。環境省、厚生労働省等を経て、2021年より現職。藤沢市環境審議会委員などを務める。慶應義塾大学では湘南藤沢キャンパスの脱炭素化を担当している。

■参加申込み方法：以下フォームよりお申込みください(申し込み締切：2023年10月30日)

<https://ws.formzu.net/dist/S283729072/> (外部サイトへ移動します)

(一社)環境情報科学センター 環境サロン係

E-mail: member-jimukyoku@ceis.or.jp / Tel. 03-3265-3916

※お申込みいただいた方にオンライン会議情報を開催の前日までにメールにてご案内します